

東海支部愛知地域会 2023年度 第2回役員会 議事録

日 時 : 2023年7月14日(金) 17:00~19:00
 場 所 : 昭和ビル5階 会議室 (名古屋市中区栄四丁目3番26号)
 ※WEB会議を併用
 出 席 : 森哲哉 地域会長 近藤万記子 関口啓介 高木耕一 野々川光昭 各副地域会長
 (順不同・敬称略) 西村和哉 会長補佐 澤村喜久夫 直前地域会長兼本部理事
 下線オンライン出席 川本直義 上原徹也 各室長
 間瀬高歩 恒川和久 東福大輔 黒野有一郎 各委員長・副委員長
 吉元学 委員長
 鈴木利明 水野豊秋 両監査
 委任状出席: 生津康広 笹野直之 奥井康史 杉本憲治 柳澤力 石川英樹
 オブザーバー: 浅井裕雄 全国大会実行委員長 堀田正司 JIA・愛知賛助会
 欠 席 : 宮坂英司 中澤賢一
 議 長 : 近藤万記子
 議事録作成担当委員会: 総務委員会
 議事録署名人: 吉元学、黒野有一郎
 前回議事録確認: 2023年度第1回議事録は第3回役員会にて提出予定

議 事

1. 地域会長挨拶

- ・本日の役員会前に開催した企業PR会では、DNライティング株式会社からはLED照明器具について、株式会社イケガミからは温暖化ガスとその対処について話題提供いただいた。参加者が少ないことが残念である。今後も極力参加をお願いしたい。
- ・大会に向けての準備は佳境に入っており、影響は愛知地域会の各委員会にも出ているが、各委員会の活動は月1回の開催をお願いしたい。大会も地域会の活動も両面で活きると考えている。
- ・例年この時期には、名簿広告、Architectの残暑広告、運営協力会費の協力をお願いしているが、当面は全国大会の協賛の方を確実にいただけるようお願いしたい。

2. 報告事項

(1) 本部報告

① 第304回理事会(6/23)(澤村)

資料-1

- ・6月23日の理事会では3つの審議事項があった。
- ・1つ目は業務執行理事選任の件について審議され、副会長の選任として慶野正司氏、松尾和生氏が承認された。専務理事の選任として、筒井信也氏が承認された。支部長の選任として、北陸支部長堂田重明氏、沖縄支部長伊良波朝義氏が承認された。
- ・2つ目は入退会承認の件について審議され、承認後の正会員数は3,243名となった。
- ・3つ目は委員会委員等承認の件について審議され、新人賞審査員、JIA保存作成会議WG JIA文化財修復塾、JIA災害対策会議が承認された。
- ・報告事項では、懲戒処分に関する対応について報告された。上嶋晴久氏への懲戒規定にもとづく退会勧告について、5月18日付けで不服申し立てが提出された後、19日に退会願いが提出された。不服申し立てが提出されたことにより、改めて審査が必要となった。7月18日に臨時理事会を開催し、処分を議決する。

② 本部総会について(6/23)(澤村)

資料-2

- ・6月23日に2023年度の通常総会が開催された。議事は第1号議案から第4号議案まで審議され承認された。報告事項は2022年度事業報告、2023年度の事業計画・予算について報告された。
- ・当日は会場出席が38名、書面評決が1,002名、委任状1,216票、合計2,256名となり、正会員数の過半を超えて通常総会は成立した。今年は本部から直接会員皆様へ通知され、はがき・メール・FAXにより多くが集まった。
- ・当日役員会終了後は退任者5名へ感謝状が贈られた。

③ 住宅等連携会議(6/14)(西村)

資料-3

- ・第2回の連絡会議は先日開催した。10月12日の全国大会プレイベントについて、8月お盆前にはチラシを配布する予定である。

- ・戸建住宅の業務報酬基準について、13類（詳細設計＋構造設計）、14類（詳細設計＋構造計算なし）は総合と構造が異なり設備は同じにて決定。来年施行されて5年間継続。
- ・コンペ、プロポーザル参加支援企画は、吉元さんにも参加いただき、取り組みを開始。
- ・BIMグループについて意見交換を行った。

(2) 支部報告

① 会報委員会（恒川）

- ・6月20日に会報委員会・ブリテン委員会を開催、8月・9月・10月号の台割について協議した。
- ・11月号は大会開催月であり、Architectは10数ページ大会記事を予定している。JIA活動を年表的に掲載、コンペ・プロポーザル関連では、西尾市生涯学習センターの件を掲載する。その他では、BIMの連載のまとめとして、横関氏、東福氏、山上氏の座談会を掲載予定である。

② 「西尾市生涯学習センター(仮称)設計候補者選定及び基本設計支援業務」契約について（澤村）

資料－4

- ・今年度業務としてJIA東海支部は西尾市との契約を締結した。佐藤会長が東海支部長に委任して契約を締結とした。業務期間は令和5年4月5日から令和6年3月28日、委託金額は616万円である。
- ・業務内容は、(1)設計競技方式の設計候補者選定支援、(2)基本設計支援である。整備推進委員会を立ち上げ、業務責任者は大瀧正也支部長、ワーキンググループ委員の業務体制を定めた。業務窓口は澤村が担当する。
- ・1次審査の結果、5社が選定された。2次公開審査は9月9日、9月末までに設計者が選定され、発表される予定である。
- ・基本設計レビューは通常のコンペでは有るのか。行政的には不安があるのか。（森）
- ・九州の弁護士会館ではJIAが関わっている。コンペまでの支援だけではなく完成まで関わっている例がある。（澤村）
- ・整備推進委員会を設けて不安を打ち消す。西尾市がコンペによってどの様に変ったか取りまとめ、今後活かし、繋げていくかが大きな課題である。（吉元）

③ 資格制度会員集会について（野々川）

資料－5

- ・8月10日（木）16時から17時30分において、会員集会「これからの資格制度」を開催する。愛知役員会の開催時間を調整した。会員集会の会場はラグナスイートであり、暑気払いの会場と同じである。
- ・会員集会は、支部事業であり前回の支部役員会においてメール審議、承認された。参加申し込みは、現在まだ10名程度であり、是非参加をお願いしたい。

④ 災害対策委員会（近藤）

資料－6

- ・6月2日大雨による被害があった。JIA災害対策会議を4月に立ち上げている。各地域会と情報共有して災害に対応している。三重県の大雨による被害状況を公開しており、地域によって被害状況も異なることが分かる。

(3) 委員会、地区会、研究会報告

① 総務委員会（間瀬）

- ・7月10日に総務委員会を開催し、愛知役員会の議題確認、愛知地域会の運営等について意見交換を行った。

② 広報委員会（奥井）

- ・報告事項なし。

③ ブリテン委員会（恒川）

- ・会報委員会と報告内容は同じである。

④ 研修委員会（東福）

- ・報告事項なし。来月には委員会開催予定である。
- ・新入会員の山田さんは研修委員会を希望されている。（森）

⑤ 職能・資格制度委員会（野々川）

- ・7/12 委員会を開催。8/10 佐藤会長との会員集会に向けて打合せを行う。次回は、8/30 委員会開催予定である。
- ⑥ 事業委員会（黒野）
 - ・全国大会エクスカージョンについて、6月29日、7月13日、次回は7月23日に会議開催予定である。名鉄観光とも打合せを行う。
 - ・豊橋「お店をつくろう」は8月末に開催予定である。
 - ・猪高小学校は、笹野さんから小学校へアプローチいただき、11月・12月に開催として調整中である。
 - ・小堀氏が担当されている名古屋大学グリーンベルトの工事が進んでおり、大会の頃に見学できる可能性があるのではないか。（森）
 - ・小堀氏はプレ大会リモート参加の予定である。豊田講堂までのエクスカージョンが有る場合は、グリーンベルトの現場見学の可能性について話題に出ていた。（西村）
 - ・11月は未だ工事中であり掘削の状態ではないか。現場を見て空間が分かる段階ではないが雰囲気を感じていただくことはできると思う。豊田講堂とセットで見学できる等の企画をいただけることで、小堀氏がよろしければ、ぜひ協力したい。大学側としては、運営のコンセプトが出てPRしていくタイミングである。（恒川）
 - ・ルートとしては今月中に決定するスケジュールで進めていく。（森）
 - ・大学のオープンキャンパスは独自に行っていただく方向で、ツアーを組まない予定である。造形大のルートが有って、その他の大学を含めてオープンキャンパス的に自由に入れることができないか検討中である。（黒野）
 - ・大学のキャンパスの括りとするか、DOCOMOMOの括りでは南山大学、愛知県立芸術大学があり、稲沢市庁舎、墨会館、羽島市庁舎などもある。（森）
 - ・見学可能かについて確認を取る必要があるため、対応をお願いしたい。（黒野）
- ⑦ 建築相談委員会（森）
 - ・弁護士会との意見交換会（兼、相談委員会）
8月22日16:00～事務局にてweb併用で行う。
相談委員会以外の方もご興味のある方はご参加ください。
- ⑧ JIA 愛知・大学特別委員会（鈴木）
 - ・意向確認メールが鈴木先生から発信されている。新しい方に登壇いただけるように枠を設定される予定。（黒野）
- ⑨ 住宅研究会（西村）
 - ・大会エクスカージョンの一部として、常滑の海から陸地を見る企画を検討していたが、実行は難しい状況である。（西村）
 - ・河文・水鏡の間は、20人以上貸し切りであれば利用可能であり、会費は12000円/人である。ただし11月11日（土）は披露宴予定が入っている。大会の前日にミニエクスカージョンとして行う場合は、11月8日は空いている。（森）
- ⑩ 保存研究会（澤村）
 - ・現在、全国大会のイベントとして講演会を原氏が企画中。研修委員会とも合同で企画予定。
- ⑪ 行政WG（吉元）
 - ・報告事項なし。
- ⑫ 地区連絡会（吉元）
 - ・報告事項なし。
 - ・建築家ウィークはコルゲートハウスで進めている。7月15日までにエントリーシートを作成予定である。（黒野）
- ⑬ 建築家+特別委員会（上原）
 - ・委員会開催はしていない。7月中に残りのページ原稿を作成し、8月校正確認・入稿の予定である。
- ⑭ JIA 愛知・賛助会（堀田）
 - ・全国大会について展示会の案内を行った結果、11社から出展希望がある。最終的には15社は集まるのではないかと。
 - ・全ての賛助会には、全国大会の各運営協力に当たっていただけるよう賛助会長から案内を発信している。

(4) その他報告

- ① 退会届 正会員「宮本正人(愛知)」「高木康雄(愛知)」(間瀬) 資料-7 (共有)
- ② 退会届 法人協力会員「グラストップ(株)(愛知)」(間瀬) 資料-8 (共有)
- ③ 退会届 法人協力会員「日本ヒューム(株)(愛知)」(間瀬) 資料-9 (共有)
 - ・同業種の方が続いて退会される傾向にある。(森)
 - ・法人協力会員には推薦者がいるため、退会届が出たら推薦者に伝える必要がある。(水野)

3. 審議事項

- ① 入会届(法人協力会員)「エイテックス(株)(愛知)」(間瀬) 資料-10 (共有)
 - ・審議 ⇒承認された。
- ② JIA 建築ワークショップ@豊橋「お店をつくろう!～小さなまちづくりプロジェクト」(黒野) 資料-11
 - ・審議 ⇒承認された。
 - ・6月・7月において4回地元の協力者と進めてきた。当日の設営、ワークショップはCPDに関連し参加者を募っている。8月26日・27日穂の国とよはしアートスペース(200名収容)にて開催する。主催はSebone実行委員会であり、内容は昨年度と変わらない。
 - ・支出は50,000円であり、内訳は賞品代20,000円、交通費25,000円、雑費5,000円である。
 - ・段カードは豊橋で保管しているものを当日のワークショップにて使用する。

③名簿発行時期について(森)

- ・イズミ印刷から名簿広告協賛企業の紹介資料が届いているが、大会の企業協賛とほぼ同時期となっており、企業側も混乱している状況であり、対応が必要と考えている。
- ・愛知地域会の名簿は最近では12月31日に発行している。そのタイミングが必ずしも良いわけではないし、本来名簿としての役割は総会終了後の1ヶ月程度で名簿を出した方が分かりやすい。名簿発行を半年間ずらすことで、3月いっぱいの募集にすれば、名簿発行は半年後の6月となり、大会にとっても良いのではないかと考えている。
- ・支出の扱いはどうなるか。(野々川)
- ・支出は次の年となる。(森)
- ・決算としては未払いとして計上しておけばよい。(水野)
- ・愛知地域会は、法人協力費、事務所単位で集めている運営協力費、名簿広告費、3本の収入で成り立っている。東海支部には支部会費はない。地域会には地域会費はない。今回の大会の広告を集めての感想として、皆さんの協力が少ないです。名簿広告についても10数人の方が広告を集めるために企業紹介しているだけであって、多分協力したことが無い方がほとんどではないか。大会の協力も3週間経ったが、このままでは支部会費を集めなければならない状況である。大手企業に30万円をお願いしたが他とバッティングしているため5万円との回答があり、急遽、地域会長からこのような提案をいただいた。ぜひ皆さんもご協力をお願いしたい。(水野)
- ・名簿発行時期について審議 ⇒承認された。

4. 協議事項

- ① 全国大会2023年度について(浅井)
 - ・現在、多岐にわたって議論し、概ね骨格は決まっておき、タイムテーブルが出来上がりつつある。
 - ・建築家ウイークのイベントの日程調整、各種会議体の日程調整が課題である。
 - ・黒野さんを中心に8つのエクスカージョンの企画を進めていただいております。明治村の希望も出ている。ホームページは8月初旬に開設予定で準備中である。今後、参画は声掛けを行う。
 - ・8つのエクスカージョンは、事業委員会担当として進めているが、それぞれの地域会の会長から力を発揮いただき、愛知・岐阜・三重・静岡から1つ以上の企画を出していただく。その他には、常滑・知多半島周遊の近傍ツアー、原さん企画中の保存修復塾の関連、三重県宿泊ツアー、DOCOMOMOツアーである。支部でお願いしているのは、常滑発バスツアーでそれぞれの箇所を回ることである。(黒野)
 - ・愛知は豊田・緑化センター周辺のコースの案が出ている。先ほどの河文の話、明治村などは大会エクスカージョンに入れるのか、ミニ版として行うか差別化するかは検討課題である。まずは8月下旬にはエントリーできる状態にする。(黒野)

・協賛金は1人1社お願いしたい。このままでは大赤字になる。(水野)

② 「学生のみなさまへ」HP開設について(森)

資料-12

- ・学生はどんな設計事務所があるのか、求人があるのか情報が伝わっていない状況である。
- ・愛知地域会のホームページにトップに「学生のみなさまへ」という項目を設け、質問を受け付けてはどうかと考えている
- ・以前は卒業設計コンクールの際に設計事務所の大・中・小の説明をしていた。いまは資金のある大きな企業が有利になっている状況であり、JIAのホームページ活用について検討が必要と考えている。ホームページをつくれれば良いだけではなく、大学の先生等に広報してアピールすることが求められる。(吉元)
- ・講師先の大学・家政学の女子から相談を受けた例があり、設計事務所に就職したいが、実務を経てからでないと資格が取れない。問い合わせ先が分からないため、問い合わせの窓口を設けた方が良いと考える。(西村)
- ・学生になるべく確かめていただきたい。まずは接触してもらうことに扉を開いておく、短期ではなく、できることなら長く付き合いたい。JIAのネットワークで紹介するなどしていかないとアトリエ事務所の人材確保が難しいのではないかと。(浅井)
- ・ホームページのフォームの作り方について、次回また議論したい。(森)

5. 専決事項(後援名義・広告掲載・協賛など)

① 建設通信新聞 2023年度暑中企画号 広告料(森)

資料-13

- ・広告料は6,000円である。

6. その他報告

① 建築八団体連絡会(8/7)について(森)

- ・8月の建築八団体連絡会には、河村市長にお越しいただくテーマについて協議をしていたが、現在、木造天守閣の問題もあるため、市長は無理と判断した。建築指導課の幹部にお越しいただく予定である。

② 愛知県建築安全安心マネジメント協議会 令和5年度総会(7/11)(森)

資料-14

- ・7月11日に総会が開催された。会長は愛知県建築局長である。確認申請に関する事、定期報告に関する事について報告され、特に大阪のビル火災に関連し、定期報告を拡大する意見があった。

③ 愛知ゆとりある住まい推進協議会

- ・協議会には建築士会の役職で出席している。他会では副部長が欠席される場合は代理出席を立てている。JIAからは副部長の欠席が続いているため、欠席される場合は代理出席を検討いただきたい。(浅井)

7. 監査意見

- ・いよいよ常滑の全国大会が佳境に入っている。プレイベント、エクスカージョン等により8月は相当忙しいが、協力して頑張るしかない。お金の面では、大会収支については本来本部事業であるものを担当する支部が代行し、突出する大会収支については、協賛金と参加費に頼らざるを得ない。協賛金は、優先順位など大いに検討していただきたい。当面8月10日に会員集会・暑気払いがあるためそれまでに情報を共有していただきたい。暑気払いは決起集会としても発信できればよいと思う。(鈴木)
- ・全国大会の準備ご苦労様です。残り3ヶ月頑張ってください。協力できることはしていきたい。学生向けのホームページの件は大いに賛成である。ぜひ交流をして学生さんにJIAを開いていただきたい。森会長が名簿発行を半年伸ばしたことは英断である。前期までは支部長でしたが現在は地域会の監査として地域会のことも心配している。コロナの関係でお金の問題が先延ばしになっているが、年々苦しくなっていることは事実であり、大会後は見直しが求められる。会員の参加が広く募れていない。全国大会はよいイベントであり、誘い合って参加できるような活動をお願いしたい。(水野)

次回役員会 2023年8月10日(木) 14:00~15:30 (JIA 東海支部事務局 会議室・WEB 会議併用)

次回議事録担当委員会：保存研究会

(次回総務委員会：2023年8月7日(月) 18:00~)

資料提出先：間瀬高歩 総務委員長

議事録作成 間瀬高歩
議事録署名人 吉元学
議事録署名人 黒野有一郎